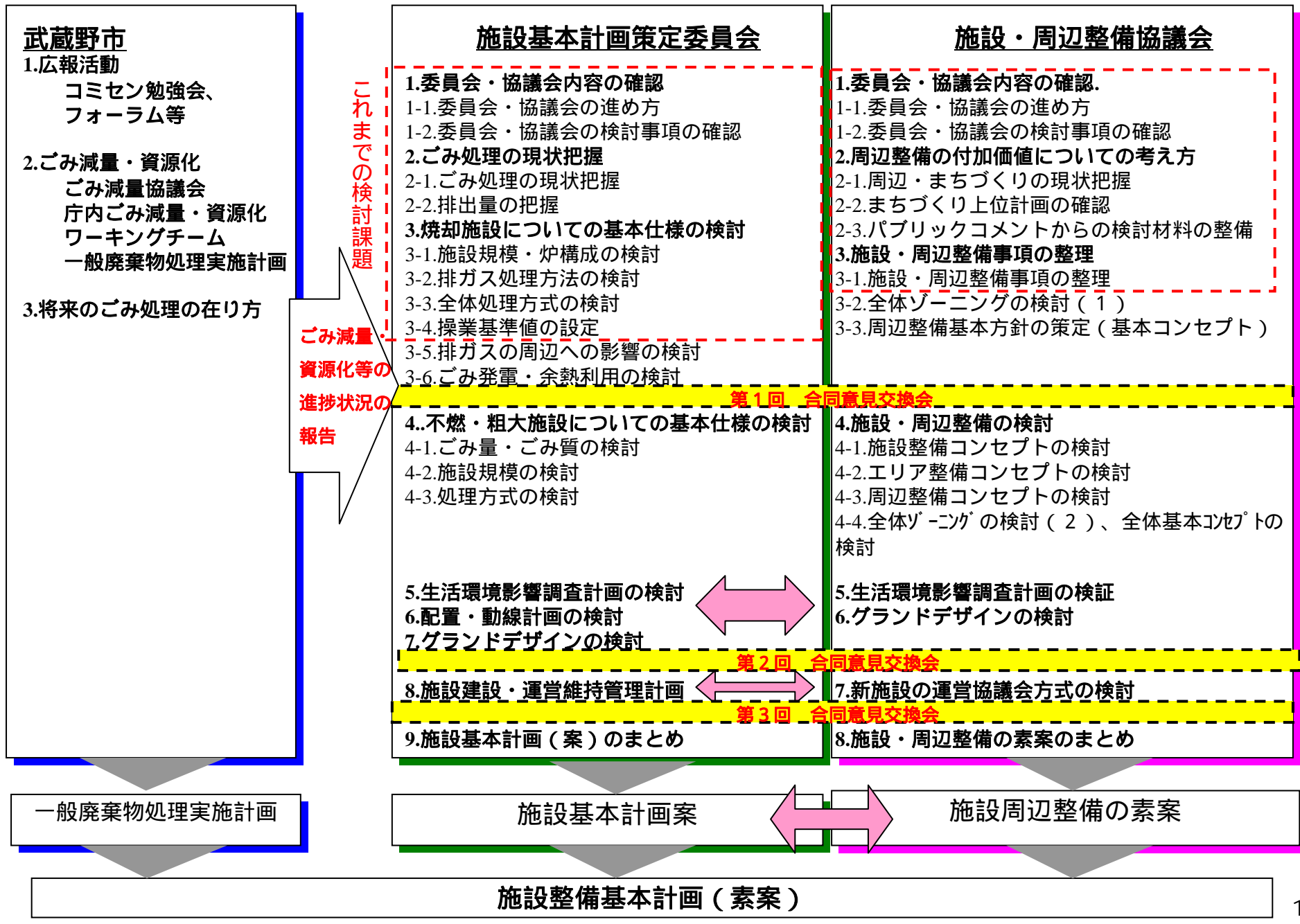
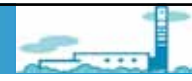




武蔵野クリーンセンター 第1回合同意見交換会

6月28日(月)

1.委員会と協議会の関係



2.委員会の検討内容



(1)委員会コンセプトの設定

市民協働による安全で安心な施設計画

- ・市民協働により、市民全体が担うことのできる施設作りを行う。
- ・安全で安定的なごみ処理施設の実現に向けて、施設規模、炉構成、排ガス処理方法などごみ処理方式と施設の基本仕様を検討する。
- ・燃やすごみだけでなく、燃やさないごみについても、安全で安定的なごみ処理を行うことができるよう処理施設の規模や処理方式について決定する。
- ・稼動後に煙突からの排ガス等による生活環境への影響が出ないように生活環境影響調査を実施し、将来の予測を行い、操業基準値へのフィードバックを行う。

環境にやさしい施設計画

- ・省エネルギー・地球環境の保全の観点から、高効率や運転制御が可能な設備・方式を積極的に採用する。
- ・新クリーンセンターから発生する余剰電力・蒸気について、発電・蒸気利用などの検討を行い、二酸化炭素排出量の削減に寄与できるよう検討する。
- ・ごみ発電にプラスして、太陽光発電、屋上緑化などの導入によりさらに環境負荷の低減を図る検討をする。
- ・環境にやさしい施設であることを目に見える形で発信できるよう検討する。

適正なコストコントロールによる確実な運転管理計画

- ・効率的で安定的な施設運営ができるように、コスト面も考慮しながらPFI方式などの民間活力手法について検討する。
- ・安全に運転管理ができるよう施設稼動後のモニタリング方法についてマニュアル化を行う。
- ・排出目標値（操業基準値）を設定し、計画地周辺における生活環境の状況を把握するための方策を検討する。

‘まちに溶け込む次世代型市民施設’としてイメージ転換を図り、周辺地域のまちづくりの核とする。 (協議会との共通テーマ)

- ・‘（仮称）新武蔵野クリーンセンター’は、環境面、安全面、効率面、そして周辺地域のまちづくり面などについて、そのいずれをも保障しつつ、現クリーンセンターよりさらに市民に親しまれ、まちと共に在り、プラスを創造する高次な施設であるべきとする。

2.委員会の検討内容



(2)計画ごみ量の設定

「市の基本的考え方」では、現在の焼却ごみ量（35,612t/年（平成19年度実績））を平成29年度には30,607t/年とする計画になっている。

そのため、計画ごみ量は30,607t/年とする。

(3)ごみ質の設定

計画ごみ質は、基準ごみ9,300kJ/kg（平均値）とし、低質ごみ（下限値）6,000kJ/kg、高質ごみ（上限値）13,500kJ/kgとする。

【現況】基準ごみ：6,279kJ/kg、低質ごみ(下限値) 3,767kJ/kg、高質ごみ(上限値)10,046kJ/kg

(4)炉形式の設定

炉形式は、安全性・安定性・実績等の観点から、ストーカ炉とする。

発生する焼却灰は「東京たまエコセメント」でリサイクルする。

(5)施設規模の設定

施設規模は、計画ごみ量を踏まえて、約120t/日（現施設は195t/日）とする。

(6)炉構成の設定

炉構成は、プラント施設の信頼性が高くなっていることも踏まえて、現施設の3炉構成から2炉構成とする。



2.委員会の検討内容

(7)排ガス規制値の設定

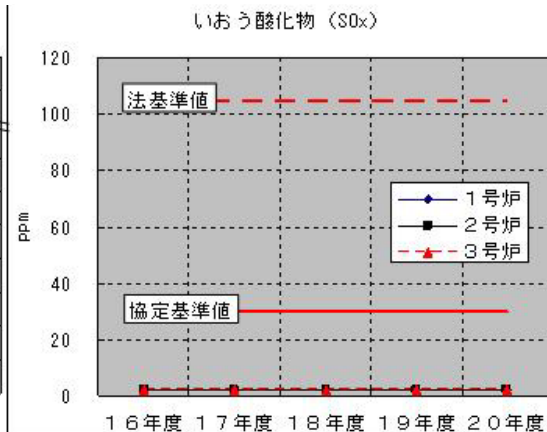
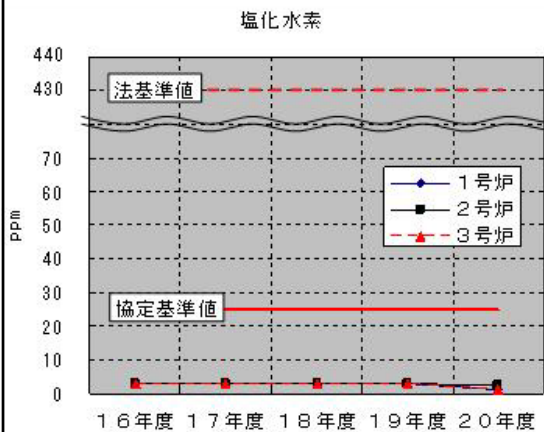
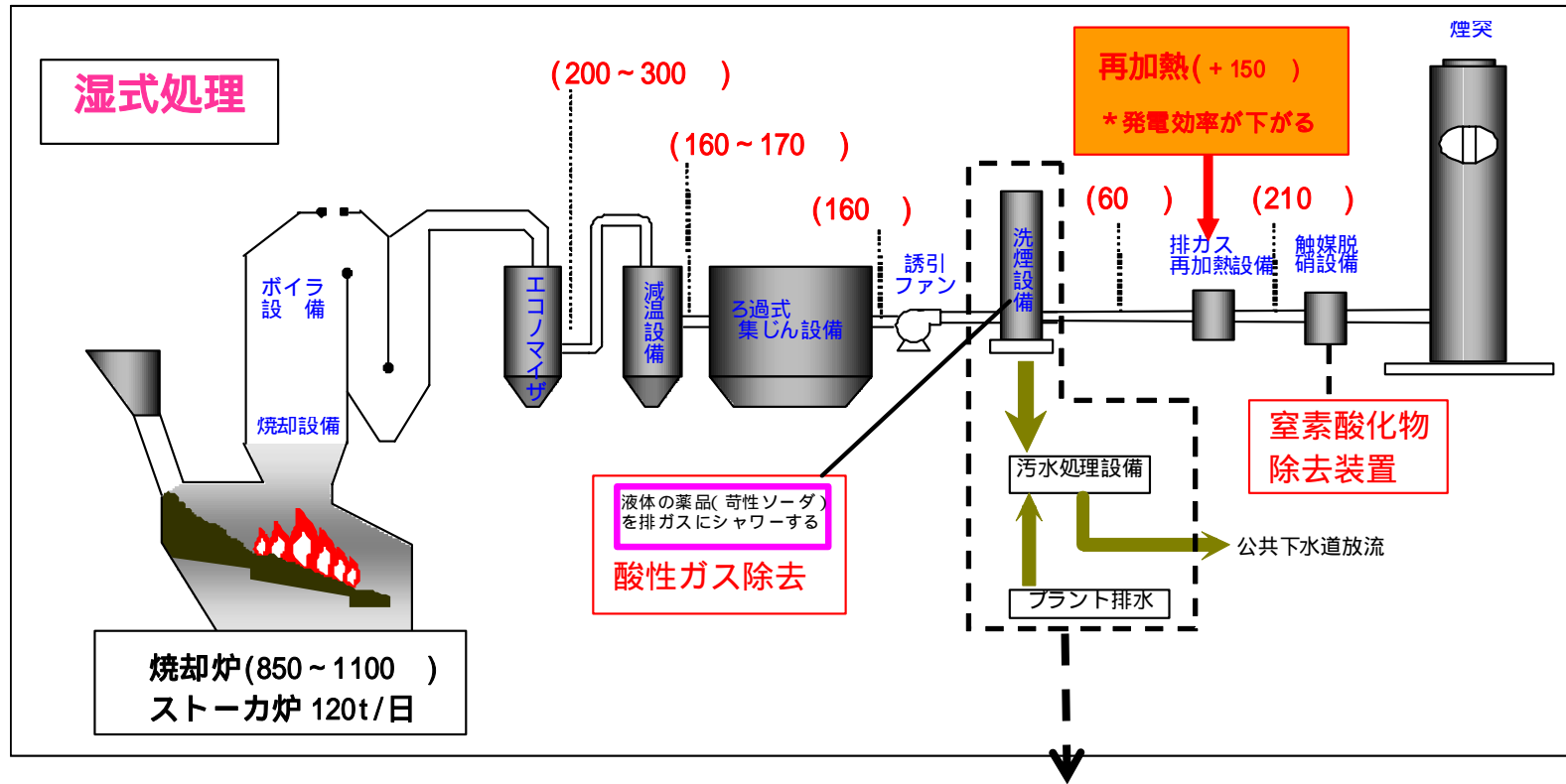
新施設の自主規制値は、本委員会の基本コンセプトである「市民協働による安全で安心な施設」という考え方にに基づき、「安全な排ガス処理システム」として、また、都心部に位置し住宅も近接しているという立地状況を鑑み、**東京二十三区清掃一部事務組合及びふじみ衛生組合が採用している全国に比べてトップレベルの自主規制値と同等する。**

項目	単位	法規制値 ¹ (大気汚染防止法等)	新施設 自主規制値 (案)	参 考			
				現施設 自主規制値	東京都内の 主な規制値 (二十三区 清掃一組)	ふじみ衛生 組合の 自主規制値	全国と同規 模程度の ストーカ炉 の設計排ガ ス濃度等
ばいじん	g/m ³ _N	0.08以下 (焼却能力2~4t/h)	0.01以下	0.03以下	0.01以下	0.01以下	0.01以下
いおう酸化物 (SO _x)	K値	1.17以下					
	ppm	(105程度)	10以下	30以下	10以下	10以下	20以下
窒素酸化物 (NO _x)	ppm	250以下	50以下	150以下	50以下	50以下	50以下
塩化水素 (HCl)	ppm	430以下 ²	10以下	25以下	10以下	10以下	20以下
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ _N	1以下 (焼却能力2~4t/h)	0.1以下	1以下	0.1以下	0.1以下	0.1以下

一酸化炭素の数値は、運転管理上の数値を設定し、自主規制値としては設定しない。

2.委員会の検討内容

(8)排ガス処理方式の設定 湿式処理



湿式洗煙装置は排ガス処理(Sox,NOx)を最大限除去することができる。

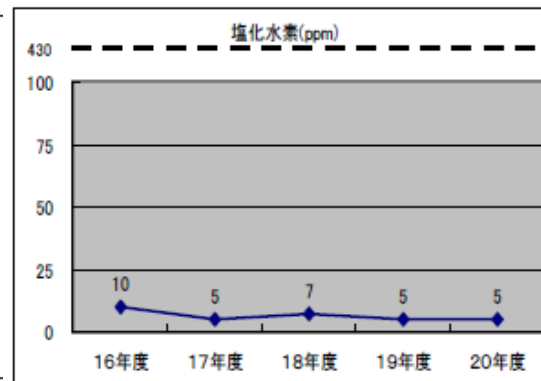
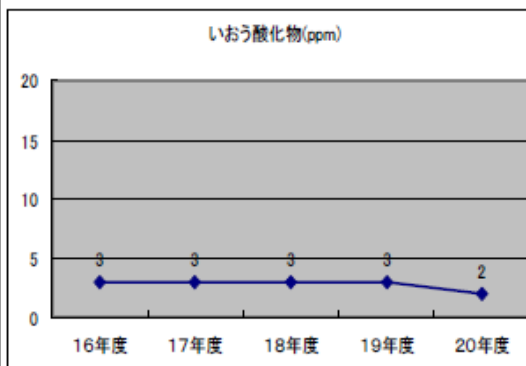
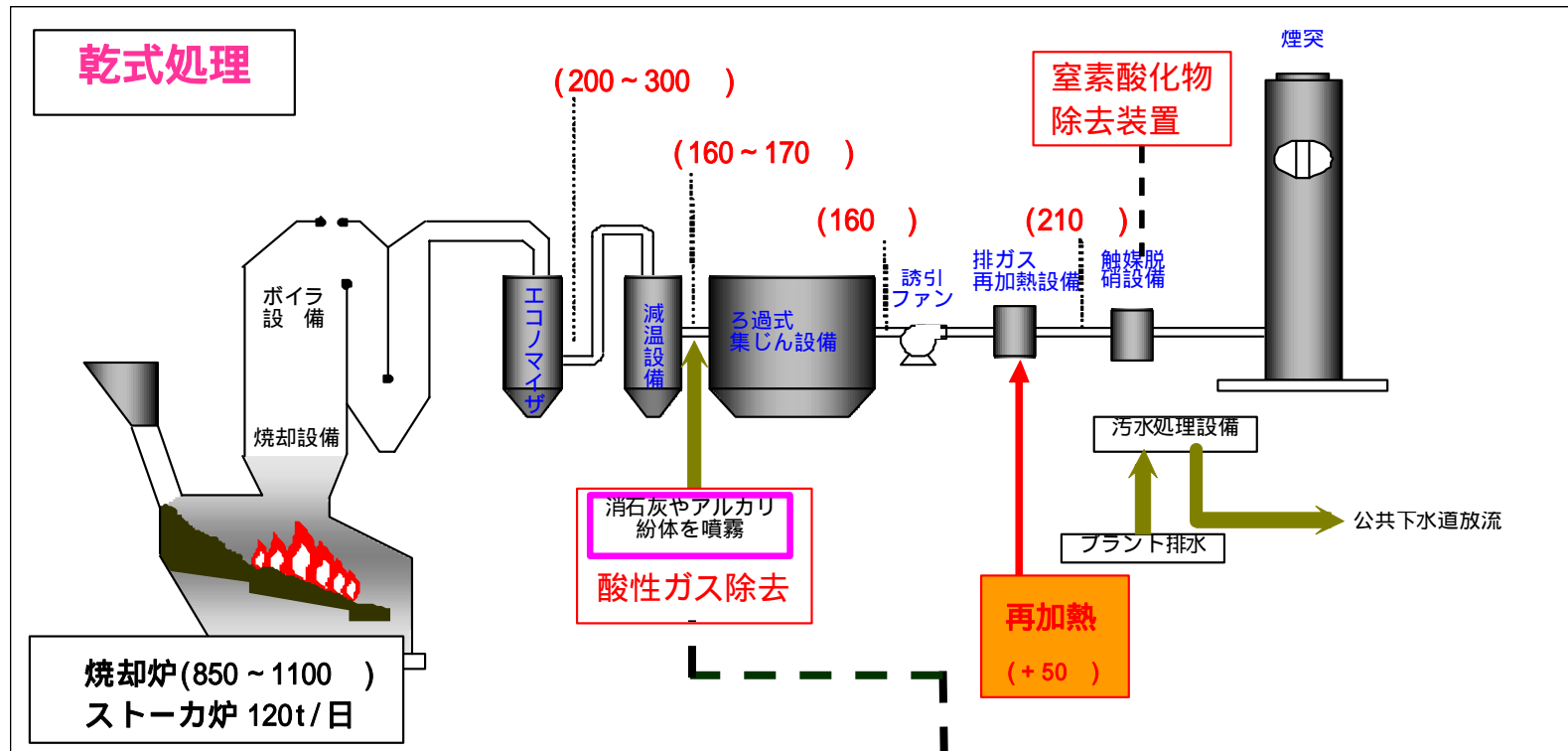
囲みの部分の装置及び面積が必要(施設規模、イニシャルコストに負担)

60 210 へ再加熱、発電効率が下がる。

排水処理において、薬品の管理、腐食等の対策に難

2.委員会の検討内容

(8)排ガス処理方式の設定 乾式処理



乾式装置においてもSOx、NOxの規制値を10ppmまで下げることができるようになった。

酸性ガス除去は集じん装置の前に消石灰、重曹を噴霧する装置のみで済む。

排ガス処理装置がシンプルで、イニシャル、ランニングコストも有利、管理も容易。

出展:八王子市 北野清掃工場

2.委員会の検討内容

(8)排ガス処理方式の設定 まとめ

排ガス処理方式については、現施設で採用している湿式洗煙装置、近年効果を上げている乾式洗煙装置処理について、発電効率、白煙防止装置の設置を含めて検討を行っている。**12月に白煙防止装置の停止実験を行い、その結果を踏まえて総合的にどちらを採用するか決定する。**

事務局としては、発電効率や費用の観点から、**乾式処理**が適切と考えている。

項目	乾式処理				湿式処理	
	消石灰		重曹			
	白防 ¹ なし	白防 ² あり	白防 ¹ なし	白防 ² あり	白防 ¹ なし	白防 ² あり
建築面積	小さい		小さい		大きい	
(配置計画の優位性)	大きい		大きい		小さい	
排ガス規制値	SOx (規制)	10ppm ¹	~ 10ppm		~ 10ppm	
	SOx (実測)	10 ppm	5ppm		2~3ppm	
	HCl (規制)	10ppm ¹	~ 10ppm		~ 10ppm	
	HCl (実測)	10ppm	5ppm		1ppm	
発電効率14%達成	16.1%	15.65%以下	16.1%	15.65%以下	13.9%	13.45%以下
白煙の可視化	あり	なし	あり	なし	あり	なし
イニシャルコスト (建設時)	- 500,000	- 400,000	- 500,000	- 400,000	- 100,000	0
イニシャルコスト (交付金)	- 500,000	0	- 500,000	0	0	0
ランニングコスト (20年間)		- 560,000		- 170,000		0
ライフサイクルコスト (20年間)	- 1,560,000	- 960,000	- 1,170,000	- 570,000	- 100,000	0
排ガス処理性能						
周辺住民への安心感						
発電効率						
コスト評価						
総合評価 ²	1	1				

1 消石灰による、いおう酸化物、塩化水素の排ガス処理においては、排ガス規制値として10ppmをキープできる可能性もあるが、繊細な運転管理(ごみ質変動の対応)の上、排ガス処理システムにおける付加機能の設置などが必要がある。したがって、消石灰の採用にあたっては、今後、実績、プラントメーカーヒアリング等によって検証することが必須となる。

乾式を選択した場合、消石灰、重曹を決めずにメーカー提案とすることも選択肢としてある。

2 総合評価は、事務局(案)として評価したものである。



3.協議会の検討内容

(1)協議会コンセプトの設定

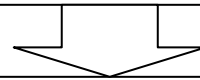
<協議会の基本コンセプト(案)>

【メインテーマ】

‘まちに溶け込む次世代型市民施設’としてイメージ転換を図り、周辺地域のまちづくりの核とする。(策定委員会との共通テーマ)

‘(仮称)新武蔵野クリーンセンター’は、環境面、安全面、効率面、そして周辺地域のまちづくり面などについて、そのいずれをも保障しつつ、現クリーンセンターよりさらに市民に親しまれ、まちと共に在り、プラスを創造する高次な施設であるべきとする。

周辺地域のまちづくりは、環境と共生する循環型社会を創造する都市を構築する。



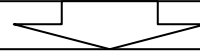
1)施設整備

- ・環境をテーマとした施設づくりを目指す。
 - ・市民に親しまれ、まちと共に在り、プラスを創造する高次な施設づくり
 - ・地域に開かれた施設づくりを目指す。
- 都市施設としての価値を高める。



2)エリア整備

- ・新施設、野球場、テニスコート、緑町コミュニティセンターが融合し、周辺地域のまちづくりの核となることを目指す。
- ・積極的な緑化や自然エネルギー利用、明るく開放的な施設づくり、ユニバーサルデザインの採用など、市民に親しまれ、環境にやさしいまちづくりを実現する。



3)周辺まちづくり

- ・市役所北エリアを中心に、市役所、総合体育館、NTT研究所、住宅団地、周辺住宅地を含め、自然環境を共生したまちを形成する。

3.協議会の検討内容

(2) 広島中工場視察

視察日 平成22年3月30日
視察施設 広島市中清掃工場
所在地 広島県広島市中区南吉島1-5-1



施設の特徴

- 1) 高度な排ガス処理設備による有害ガス排出濃度の低減
- 2) 高効率発電(15,200KW)と高度な余熱利用
- 3) 灰溶融固化設備によるダイオキシン類の無害化
- 4) 環境展示施設、工場を見渡すことのできる構造
- 5) 開放的で魅力ある水辺の緑地空間



3.協議会の検討内容



(2)広島中工場視察

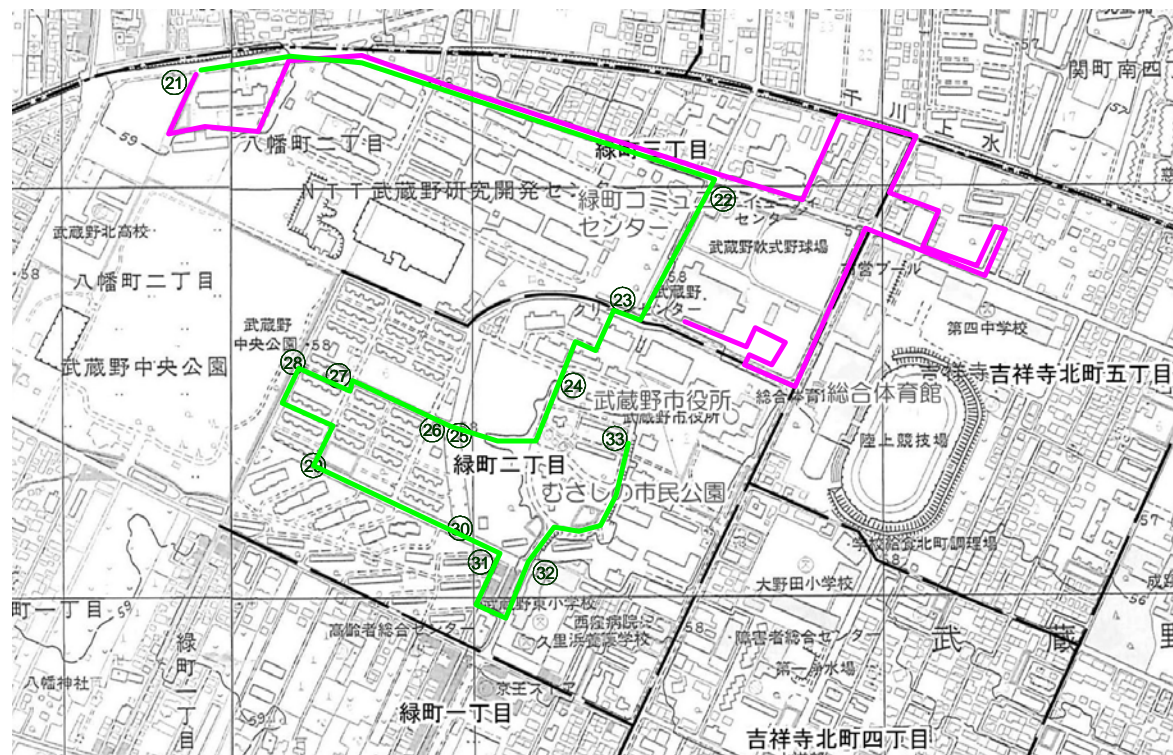
主な感想

- ・施設が大きい。緑が少ない。
- ・工業地帯で、スケール感が武蔵野とは異なる。
施設の清掃をしても、受入れられるとは言えない。
- ・清掃工場の展示を見て、歴史・位置づけがよく分かった。
住民がどこまでかかわっているのか疑問に感じた。
武蔵野クリーンセンターの方が身近に感じられた。
- ・市民が入りやすい施設が、焼却場を知ってもらう一つの要素ではないか。
- ・他には無いような煙突ができたらいい。角形の煙突が多く、丸形があってもよい。
- ・煙突の高さが武蔵野よりも低く感じた。
地域との関わりを重視していないようだ。
- ・外観はとてもきれいに感じたが、武蔵野とは、立地環境が少し異なる。
見学通路が全て壁になっており、外がガラス張りなのに比べ残念。
- ・ごみ減量、公共施設、みどりといった魅力ある施設にしていかななくてはならない。

3.協議会の検討内容

(3)タウンウォッチングの実施

実施日 平成22年5月8日
参加者 協議会委員
委員会委員
周辺住民
事務局など



3.協議会の検討内容



(3)タウンウォッチングの実施

主な感想

- ・櫛木公園など距離を置いて見ると、煙突の存在感を感じた。
- ・住宅や中央公園、商店街など改善できる要素が詰まったエリア。
- ・防災拠点のエリアでもあるため、防災上の観点は重要。
- ・NTT研究所に南北の道を通すことで、緑町一～三丁目の往来が円滑になる。
- ・パークタウン武蔵野は、地域への動線、歩車分離が考えて作られている。
- ・緑町コミュニティセンターの位置は重要。
- ・配慮の対象を現住民か、3～40年後の住民なのか、考えながら参加した。
- ・緑町コミュニティセンターは、会議、集会室が不足している。
- ・都営住宅の未利用地、都有地などが3000坪あり、公共施設として活用してほしい。

3.協議会の検討内容

(4)ワークショップの実施

ワークショップ 未来のクリーンセンターをつくらう
(5月16日クリーンセンター エコフェスティバルにて)

・新しいクリーンセンターに関して、以下のテーマについて意見を募集した。

- どんな施設がいい？
- 安全対策は？
- 心配なことは？

・寄せられた意見(抜粋)

クリーンセンター

見て感じてわかりやすいクリーンセンター
車いすでも見学しやすいクリーンセンター
いつも見学ができるといいなあ(小4 男の子)
安全対策は住民の目にはっきりわかる形の表現を！
煙突の高さをもう少し高くして...

周辺環境

センターの周りに花の回廊を作ってほしい
クリーンセンターの周りは歩きやすい そんな歩道
緑のスペースの充実
千川上水の側道整備
歩道を広げ、自転車ゾーンの道路を作って欲しい！！
NTT側も歩道があるといい
電柱地中化を是非進めてほしい
都営武蔵野空き地の利用(3,000坪)
中島飛行機の変電所建物の保存

付帯施設

市役所食堂のような安くて子供も入りやすいレストラン
幼児ではない小学生の室内で遊べる場所がほしいです
無料動物園ホシイ！
無料遊園地を作ってほしいです
足湯、健康ランド
自家製ハーブ茶サービスコーナー
賞味期限切れのお店
バイク置き場を作ってほしい
子供も利用できるリサイクル工房がほしい
散歩の途中で利用できる誰でもトイレ
楽しく学べる体験できる場所、歴史を学べる場所





3.協議会の検討内容

(4)ワークショップの実施

協議会での追加内容

- ・委員の新施設の要望について、ワークショップと同様の方法で意見交換を行った。



・挙げられた要望(抜粋)

施設整備について

- 安全策が見える施設づくり
- 市民参加、情報発信の場
- 生物多様性について考える場
- 煙突デザイン
- まちづくりセンター(フリースペース)
- リサイクル工房+販売所
- 分散化する処理施設のショーケース、クリーンサロ
- 日常生活に役立つ施設づくり
- 雇用の場づくり
- ホール、会議室
- 脱焼却、脱廃棄のために知恵を集める仕組みづくり
- フリーマーケット
- 余熱利用パン工場
- 足湯、岩盤浴
- 風力発電施設

エリア整備について

- 野球場地下 防災倉庫設置、防災拠点化
- テニスコート継続
- スカットコート
- 駐車場増設
- この計画地でなければならない理由、立地特性
- テニスコート 都営アパート跡地へ移転
- 緑町コミセン 現位置から移動しない 計画施設と一体

周辺整備について

- 低炭素型社会モデル地区
- 市 内部連携、継承
- 市道41号線 歩道見直し、街灯、標識の見直し
- NTT研究所 周囲歩道拡幅、資料館一般開放
- バスルート見直し
- 都営住宅未利用地の活用 公共施設建設、売却NG